

平成30年度第2回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日時：平成31年1月25日（金）13:30～14:45

会場：秋田県立近代美術館 会議室

出席者：会長 木村雅美 横手市教育委員会教育指導部学校教育課長  
副会長 亀沢修 小坂町町史編さん室長  
委員 大山満子 公募  
" 佐藤稔 横手市立横手南小学校長  
" 澤谷ゆりか 秋田ふるさと村総務部総務課長  
" 澁谷和之 澁谷デザイン事務所代表  
" 松田砂織 えがおの花書道教室代表  
" 渡辺歩 秋田魁新報社文化部長  
事務局 仲町啓子 近代美術館 館長  
" 樫尾康子 " 副館長  
" 保泉充 " 学芸班 副主幹（兼）班長  
" 柴田卓也 " 総務班 副主幹（兼）班長  
" 佐々木賢一 " " 副主幹  
" 茂木亨 " " 主査  
" 藤井正輝 " 学芸班 学芸主事  
" 奈良香 " " "  
" 高橋輝樹 " " "  
" 小林紀子 " " "  
" 鈴木京 " " "

<次 第>

1 開 会

2 館長あいさつ

3 会長あいさつ

4 協議

(1) 平成30年度近代美術館事業の概況について

(2) 平成31年度近代美術館事業の概要について

樫尾副館長、保泉班長がパワーポイントを使用して(1)(2)について事業等を説明

(3) (1)・(2)について一括の協議・質疑応答

5 閉 会

## <協議概要>

### 県庁出前講座とは。

- 秋田県が主催で、県民の要請に応じて県職員が講師として出向いて講座を行うもの。出前講座のメニューは、県のホームページ「美の国秋田ネット」で公開されており、その中から選んで申し込むことになる。対象は基本的に団体で、学校、企業、老人クラブ等問わない。無料なので気軽に利用できる仕組みとなっている。

### 美術品収集事業とは。

- 美術品取得基金による収集で、美術品収集委員会の審査を経て、認められることによってはじめて購入することが可能となる。秋田ゆかりの作品、特に秋田蘭画を中心に購入しており、今年度は、佐竹義躬の「岩に牡丹図」と佐々木原善の「花鳥図押絵貼屏風」の2点を購入する予定である。現在、秋田蘭画を12点收藏しているが、今後も購入を検討し、秋田からの作品流出を未然に防がなければならないと考える。

### 【近代美術館のPRについて】

夏の「チームラボ」大変楽しく見させてもらった。セカンドスクールで見て、次は家族で見に行ったという話しも聞こえてくるくらい、満足する内容だったようである。

- 「チームラボ」や「藤城清治」といったいわゆる「当たり」の年度は確かに入館（場）者増につながるが、そうでないコンテンツが揃ったときの知恵出しが重要になってくると考える。色々な企画を考え、お客様への入口を作って、それを良いきっかけにする。先を見越した働きかけをすることが重要である。

### 来年度特別展毎のターゲットに向けた広報戦略はあるか。

- 「岩合光昭の世界ネコ歩き2」ではペットショップや獣医とのコラボを、「ビッグコミック50周年展」では横手市や小学館のSNS、本誌での広報を、「若冲と京の美術」では春に福島で同展が開催されることから、そこでファンに働きかける（ティザーチラシ等）など、それぞれ考えている。

### 広報活動の難しさはどうすればよieldろうか。

- アンケートでもテレビやラジオのCMで知った方が多いことから、やはりマスコミによる宣伝活動は大きいと考える。（マスコミの立場から言うと、美術館側からの熱意が伝われば、宣伝はいくらでもするので、しつこいくらいに売り込みをしてほしい。ただの投げ込みではなく資料にも工夫を。興味を引くプレゼンをしてほしい。）

いただいた貴重な意見を当館の運営に反映させていきたい。